

講習の名称：自然の生い立ち、土地の履歴と自然災害

担当講師：青山 雅史（共同教育学部准教授）

講習開講日：令和3年12月11日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：小・中・高等学校教諭

キーワード：地形、土地の履歴、自然災害、災害リスク、災害碑、地図

講習の概要：

今後の自然災害による被害軽減を考えるうえで、私たちが暮らしている地域の地形の生い立ち、災害発生履歴や土地利用の変遷などといった「土地の履歴」をよく知ることは重要です。本講習では、いくつかの地域における過去の被災事例を通して、地域の災害リスクの把握における土地履歴の理解の重要性について解説します。群馬大学荒牧キャンパス周辺での野外観察を行い、身近な地域における風景を「地理的な見方」から読み解いていきたいと思えます。

講習の展開：

第1時限 「土地の履歴」を知ることはなぜ大事か？

第2時限 自然災害被災域の土地の履歴、土地条件と被災教訓

第3時限 群馬県における災害履歴、さまざまな地図（地理空間情報）の活用方法

第4時限 群馬大学荒牧キャンパス周辺の地形と土地利用の野外観察

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

おもに自然地理学に関連した内容について取り上げていきます。講習時にさまざまな地図を紹介・解説します。国土地理院のウェブ地図「地理院地図」やウェブ上で公開されているハザードマップなどを事前に関連し、それらの内容や機能などについて各自で確認しておくようにしてください。群馬大学荒牧キャンパス周辺の地形、土地利用とその変遷に関して、90分程度の野外観察（巡検）をおこなう予定です。

授業の形式： 講義、野外観察（フィールドワーク）

履修認定試験： 論述形式の筆記試験を課します（ノート・配布資料の持込可）。

テキスト・参考文献：

◎講義資料と講習時に利用する地形図はこちらで準備・配布します。

◎参考文献

鈴木 康弘 編 『防災・減災につながるハザードマップの活かし方』 岩波書店 2015